

令和元年6月21日

会 員 各 位

一般社団法人都市計画コンサルタント協会
事業委員会 まちづくり技術者交流部会

「都市計画に係る中堅・若手技術者交流会」メンバー募集

平素は当協会の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では都市計画コンサルタント業務の第一線で活躍している中堅・若手技術者の技術力の向上と相互交流を図ることを目的に、これまで多様な「まちづくり技術者交流会」を企画・運営して参りました。

その一環として、平成20年度からは都市計画行政に携わる国土交通省都市局の中堅・若手職員と当協会会員企業の中堅・若手技術者による技術交流の場として『都市計画に係る中堅・若手技術者交流会』を開催して参りました。本交流会を通じて、都市計画行政に携わる方々と都市計画業務に携わるコンサルタントとの間で、それぞれの役割にふさわしい知見・技術の向上等に資する効果、貴重な資料、ご意見等を直接見聞できたことは大きな成果と考えております。

そこで、本年度につきましても『都市計画に係る中堅・若手技術者交流会』を継続開催すべく、本交流会への参加メンバーを下記により募集することといたしました。本交流会の趣旨や別添の運営要領等をご確認いただき、是非とも参加いただけますようお願い申し上げます。

なお、これまでの本交流会の活動に関しましては、当協会ホームページのサイドメニュー『協会レビュー』に掲載している「協会での取り組み 2019年第3号、2018年第1号、2017年第4号」で紹介させていただいておりますので、合わせてご確認くださいようお願い申し上げます。

記

1. 募集対象者 会員企業に所属する経験7年以上で45歳未満の方（目安）
2. 募集人数 10名程度（1企業1名まで、応募者多数の場合は先着順）
3. 開催予定 会場：国土交通省会議室
時間：平日の18時～20時を原則（弁当・飲物付）
回数：3回程度（別途、必要に応じて協会メンバーだけの会議も開催）
4. 参加申込 別添「参加申込書」に必要事項を記入の上、**7月31日（水）**までに senmu@toshicon.or.jp 宛にお送りください。

「都市計画に係る中堅・若手技術者交流会」参加申込書

令和元年 月 日

参加申込書	
会 社 名	
会社の住所	〒
参加者氏名	
所 属	
電話番号	
F A X	
e-mail	
意見交換してみたいと思う内容	<p>日頃から都市計画業務に携わっている中で、国交省や同業他社の技術者の皆さんと意見交換してみたいと思う内容を記述してください。</p> <p>(※ 専門としている業務分野に関する内容、業界や所属企業の実情に関する内容など、個々の実情に応じた柔軟な視点で記入していただければ結構です。)</p>

《お問合せ先》

- ・ 一般社団法人都市計画コンサルタント協会 事務局
- ・ 住所 〒102-0093 千代田区平河町 2-12-18 ハイツニュー平河 3 F
- ・ T E L 03-3261-6058
- ・ F A X 186-03-3261-5082
- ・ e-mail senmu@toshicon.or.jp
- ・ 担当 木村

「都市計画に係る中堅・若手技術者交流会」運営要領

1. 目的

都市計画行政と都市計画業務に携わる中堅・若手技術者が一堂に会し、都市計画分野に係る今日的な課題や都市計画コンサルタント業界としての今後の展望等について意見交換を行い、それぞれの役割にふさわしい知見・技術の向上に資することを目的とする。

2. 参加メンバー

- ① 国土交通省：都市局の室長～企画専門官クラス 5名程度
- ② 当協会：会員企業の中堅・若手技術者（経験7年以上、45歳未満を目安）10名程度

3. 開催

- ・会場：国土交通省会議室
- ・時間：平日の18時～20時を原則（弁当・飲物付）
- ・回数：3回程度（別途、必要に応じて協会メンバーだけの会議も開催）

4. 運営

- ① 国土交通省及び当協会の参加メンバー（全体で15名程度）の第1回交流会を開催するにあたり、その事前に協会メンバーだけの「顔合わせ会（事前調整会議）」を開催し、今年度の交流会の運営企画等について検討・調整を行う。
- ② 第2回以降の交流会の具体的な運営方針（意見交換のテーマや資料準備等の役割分担など）の検討・調整のために必要がある場合には、適宜、協会メンバーだけの事前調整会議を開催する。
- ③ 参加者の意向に応じて適宜、懇親会を企画する。

【参考】平成30年度の意見交換のテーマ

第1回交流会：今年度の運営方針について＋懇親会

第2回交流会のテーマ（2グループに分かれ、同じテーマで意見交換）

●コンパクトシティに関わる諸問題

- ・立地適正化計画等において、実務レベルで疑問に思うこと、顕在化している課題等
- ・コンパクトシティ実現に向けた新しい仕組みや制度の方向性・必要性等

●新しい技術のまちづくりへの活かし方

- ・技術革新（自動運転等）がまちづくりに与える影響（想定される影響）
- ・まちづくりに関わる各種データ（ビッグデータ、スマートプランニング等）の作り方、活かし方

第3回交流会のテーマ（2グループに分かれ、同じテーマで意見交換）

●まちづくりの進め方

- ・地方公共団体の都市計画、まちづくりにおける問題として、行政、住民、民間との関わりの中で、まちづくりをどのように進めていくか、事業や活動をどのように掘り起こしていくか。その中でコンサルタントの役割。

5. その他

この運営要領に定められていない事項については、参加者の合意により定めるものとする。